

おおだて

住民登録

5月1日現在

前月比
人口 77,555 (-46)
{男 37,262
女 40,293}
世帯数 19,724 (+57)

編集と発行 大館市役所
発行年月日 昭和46年6月1日
発行日 毎月1日
定価 1部5円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可

市民のささえ



市内を走る国道、県道、そして市道の長さを含めると約六三三キロもある。このうち、国道が七%、県道が九%で、残りの八十四%(約五三三キロ)は市道になっている。市では、年次計画のもとに、順次、市道の舗装化を實現しつつあるもの、あまりにも長い市道を有しているため舗装率も一七・六%と、めだたないのが現状です。とにかく、未舗装になっている約四四〇キロの維持管理は大変なものがあるが、毎日のごとく、道路の修理に励む修路夫さんのはたす役割は大きい。

市道の補修にいとむ

<各地区の修路夫さん>

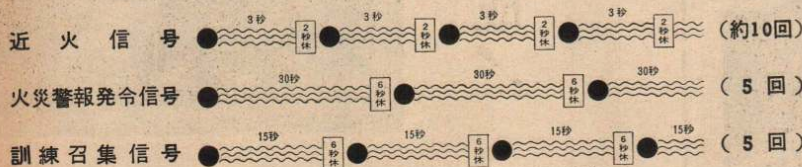
- 釈迦内地区—貝森 米蔵さん
長木地区—中村 末蔵さん
"— 畠山 春吉さん
上川沿地区—藤原助太郎さん
下川沿地区—浅川 清さん
真中地区—富樫金次郎さん
二井田地区—大沢 万助さん

(写真)
真中地区の市道の補修に励む 富樫さん

市には、季節的に雇っている修路夫さんが七人いる。修路夫の仕事は、側溝のドブ上げ、道路のデコボコ直し、砂利散布後の地ならしなどが主なものである。炎天下にもめげず、汗とほこりにまみれながら、ただ、黙々と働きつづける修路夫の仕事はつらい。しかし、未舗装の道路を守る修路夫の汗の結晶は、私たちの生活をささえる大きな底力となっているのです。道行く途中に修路夫さんに会ったら「こころうさん」とひとこと励げましのことはおこって欲しいものです。

覚えよう、消防のサイレン

サイレンは、鳴りつづける秒数によって、火事であるか、火災警報のサイレンであるかが、わかるようになっています。サイレンの種類はたくさんありますが、最も多く吹鳴されている信号につきの3つの信号があります。よく覚え、間違いのないようにしてください。



くず焼き 林野の火入れ は届け出てください

くず焼きや林野の火入れを行なう場合は、消防署へ届け出しなければなりません。届け出をしないと、大館市火災予防条例の規定によって処罰されることになっていますので、お宅でくず焼きをする場合はご手数でも消防署へ届け出てください。とくに、火災警報が発令されているときとか、風の強い日などには、つぎのことを守ってください。

- ◆山林、原野で、火入れをしないこと。
◆屋外では、火遊び、たき木火させないこと。
◆引火性、爆発性の物品の付近でタバコを吸わないこと。
◆屋内で裸火を使うときは、窓、出入口を閉じること。

市史編さん

資料提供のお願い

市では、昭和50年を目標に大館市史を発行の予定で、ことしから資料収集に着手することになりました。古文書や昔の大館の写真などを保存されている方がおりましたら、企画室までご連絡ください。

ご連絡があれば、資料収集委員がお宅にお伺いし、資料の貸与または、写真の複写などについてご相談しあげることになっています。

市民の皆さんのご協力をいただいて、立派な市史を発行したいと思っておりますので、皆さんのご協力をお願いします。

連絡先→市役所、企画室

(2-1212)